

本年度の努力事項

- (1) 人権尊重の精神の涵養を図り、自尊感情を高める人権教育の推進
 - ・暮らしの隅々にまで、人権尊重の精神が根づいた生き方ができる子どもを育てる。
 - ・「徳島県人権教育推進方針」に基づき、発達段階に即した人権教育を推進する。
 - ・他者理解に努め、その良さに目を向けるとともに、自分をかけがえのない存在として大切に
する子どもを育てる。
- (2) 自ら課題を見だし、よりよい課題の解決に取り組む探究的な学習の推進
 - ・「総合的な学習の時間」と各教科等を横断的・総合的に関連付け、教育活動全体を通して、
よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を図る。
 - ・「生活科」の学習を通して、ヒト・モノ・コトに関わり、自立し生活を豊かにしていくための資
質・能力の育成を図る。
 - ・可能なかぎり「本物」のヒト・モノ・コトに接して学ぶ場・機会を設ける。
- (3) 学校・家庭・地域が一体となった「チーム新町」による教育活動の推進
 - ・全ての教育活動において、全教職員の創意を結集して推進する。
 - ・教育活動の中に、地域の特性や個性を十分に生かし、特色ある学校づくりをする。
 - ・家庭・地域・関係諸機関との相互理解を深め、信頼関係を密にし、地域に開かれた学校づ
くりをする。
- (4) 外国語・外国語活動・国際理解教育の推進
 - ・「聞くこと」「話すこと」を中心とした外国語・外国語活動を推進することを通して、英語に親
しみをもつとともに、意欲的に英語を話そうとする姿勢をもたせる。また他国の文化や習慣に
慣れ、他国を理解しようとする意欲を育てる。
 - ・英語に親しむ生活環境づくりを推進する。
 - ・私たちが住む土地、徳島市・県、日本の地理、歴史、文化、風習等への理解を深める。
- (5) 情報〔プログラミングを含む〕教育の推進
 - ・一人一台タブレット端末を活用し、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく育成する「個
別最適な学び」と子供たちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的充実
を図り、主体的・対話的で深い学びの授業改善につなげる。
 - ・受信・発信の基本的ルールやマナーを身につけさせる。
- (6) 共生社会に向けての特別支援教育の充実
 - ・誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合う共生社会に向けての学習を深める。
 - ・特別支援教育コーディネーターを核として、全校的な支援体制の確立を図る。
 - ・関係諸機関との連携を密にするとともに、子どもや保護者の思いを知り、教育的支援を行
う。
- (7) 学力向上と基礎的・基本的な資質・能力の習得の徹底
 - ・基礎的・基本的な資質や能力を確実に身に付けさせる。
 - ・問題解決学習や自然体験・社会体験・生活体験等、豊富な体験を取り入れた学習活動を推
進する。
 - ・読書意欲を喚起し、語彙力や文章表現力及び創造力や思考力を高める。
- (8) 体験を通じた道徳・キャリア教育の推進
 - ・教育活動全体を通じて道徳的実践力を育てる。
 - ・ボランティア活動や自然体験活動などの体験を通して豊かな道徳性を育てる。
 - ・夢や希望、目標を持ち、自分でできることを見つけて実践しようとしたり、目標に向かって努
力しようしたりする意欲を持つ子どもを育てる。
- (9) 体力向上と心の健康の保持増進
 - ・体育科授業の充実を図り、児童が運動の楽しさ・おもしろさに触れ、運動を続けていこうとす
る意欲を育てる。
 - ・健康と運動・睡眠・食事等の関連について関心をもち、健康の保持増進に意欲的に関わる
子どもを育てる。
 - ・家庭と連携のもと、「早寝・早起き・朝ご飯」の啓発・推進を図る。
 - ・学校の中に、子どもの悩みが気軽に相談できる雰囲気をつくる。
- (10) 教職員の働き方改革の推進
 - ・「学校における働き方改革プラン」に基づいた職場環境の整備に努め、教職員一人一人が
児童と向き合う時間を十分に確保する。